

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（1 / 4ページ）

種目(教科等)【社会科（地理的分野）】

項目	教科書名(新編 新しい社会 地理)	会社名(東 書)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○写真や地図資料、統計資料などから、基礎的・基本的な事項をおさえ、地域的特色を考察し、理解させるようになっている。</p> <p>○「地理にアクセス」「地理スキル・アップ」などを設け、話題になっている地理的事象や資料の見方を示し、地理的な見方や考え方を育成するようになっている。</p> <p>○本時の学習課題や振り返り、また、課題解決に結びつくコラムを掲載することで、地域的特色や課題をとらえるようになっている。</p>	
特色	特 内 容	<p>〈基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫〉</p> <p>○各見開きページが、「導入資料」「学習課題」「本文、資料」「確認」の流れで構成され、学習内容の定着を図っている。</p> <p>○グラフの読み取り方、地形図の読み取り方など、基礎的な知識・技能を習得するために、学び方を学ぶ「地理スキル・アップ」が設けられている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○各見開きページの最後に「確認」が設けられており、説明・要約などを行い、言語活動で学習内容をまとめるようになっている。</p> <p>○「この章の学習を確認しよう」でそれぞれの章の学習内容をまとめたり、説明したりすることで、思考力等の育成を図っている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○各単元の導入では、学習内容に関連する写真等を豊富に掲載し、生徒の学習意欲が高められるようになっている。</p> <p>○「えんぴつマーク」「ティーブレイク」などを設けており、生徒の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組ませるように工夫している。</p> <p>〈地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫〉</p> <p>○「地理スキル・アップ」「調査の達人」「ためしてみよう」などを通して、基礎的な技能を活用して、地理的な見方ができるようになっている。</p> <p>○「地理にアクセス」「深めよう」など、さらに深く単元に迫るテーマを示すことにより、地理的な考え方を身につけるようにしている。</p> <p>〈我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫〉</p> <p>○地域の生活に対する地理的認識を発見するために、冒頭の写真・グラフ等に対して挿絵の人物が問いかけるような工夫をしている。</p> <p>○各地域で生活する人の話とそれにかかわる写真などから、実際にそこに住み、生活する人々の実態や思い、地域的特色を捉え、地理的認識を高める工夫がなされている。</p>
	資 料	<p>○世界と日本の諸地域の学習について、地形の概観が分かる地図、その地方の地域的特色を表す主題図とグラフ、写真、雨温図が掲載されている。</p> <p>○巻頭・巻末には世界の国旗や特色ある風景、世界の主な家畜・農産物などが掲載されている。巻末資料に用語解説、都道府県と世界の国々の統計資料、索引が掲載されている。</p>
	表 記 ・ 表 現	<p>○見開きページごとに学習課題が示されている。本文の重要語句は太字で示され、関連する事項は→p00と書かれ、参照できるようになっている。また、資料は見開きごとのまとまりで通し番号が付けられ、本文にも番号が付されている。</p>
総 括	<p>○学習課題について本文・資料を用いることによって基礎的・基本的な知識・技能が習得できるようになっている。「地理スキル・アップ」「調査の達人」などで基礎的・基本的な技能を高め、章末のみんなで考えるページや「確認」などを利用し、思考力・判断力・表現力を高めるようになっている。</p>	

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（2 / 4 ページ）

種目(教科等)【社会科（地理的分野）】

項 目	教科書名(中学校社会 地理 地域にまなぶ)	会社名(教 出)	
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○見開きページの最初に課題を提示し、その最後に発展的な課題を提示することにより、地域的特色を考察し、理解させるようになっている。</p> <p>○各節のまとめで作業学習を取り入れたり、説明や論述などで表現させたりすることで、地理的な見方や考え方を育成するようになっている。</p> <p>○「地理の窓」で地域のトピックや課題を示し、また、「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」で、地域的特色や課題をとらえるようになっている。</p>		
特 色	<p>〈基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫〉</p> <p>○各見開きページが、「導入資料」「学習課題」「本文、資料」「ふりかえる」の流れで構成され、学習内容の定着を図っている。</p> <p>○グラフの読み取り方、地形図の読み取り方など、基礎的な知識・技能を習得するために、学び方を学ぶ「地理にアプローチ」が設けられている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○各見開きページの最後に「ふりかえる」が設けられており、説明・要約などを行い、言語活動で学習内容をまとめるようになっている。</p> <p>○各章や節の最後の「学習のまとめと表現」でそれぞれの章・節の学習内容をまとめたり、説明したりすることで、思考力等を育成するようになっている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○地域の話題を紹介する「地理の窓」などが設けられ、興味・関心に応じて個々に探求する学習に取り組めるようになっている。</p> <p>○今日的な話題に迫る「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」などを設け、興味・関心に応じて個々に探求する学習に取り組むようになっている。</p> <p>〈地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫〉</p> <p>○「地理にアプローチ」「見てみよう」「読み解こう」などを通して、基礎的な技能を活用して、地理的な見方ができるようになっている。</p> <p>○「地理の窓」「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」など、さらに深く単元に迫るテーマを示すことにより、地理的な考え方を身につけるようにしている。</p> <p>〈我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫〉</p> <p>○地域の生活に対する地理的認識を発見するために、冒頭の写真・グラフ等に対して挿絵の人物が問いかけるような工夫をしている。</p> <p>○各地域で生活する人の話とそれにかかわる写真などから、実際にそこに住み、生活する人々の実態や思い、地域的特色を捉え、地理的認識を高める工夫がなされている。</p>		
	資 料	<p>○世界と日本の諸地域の学習について、地形の概観が分かる地図、その地方の地域的特色を表す主題図とグラフ、写真、雨温図が掲載されている。</p> <p>○巻頭・巻末には世界の様々な風景、世界遺産、世界の主な家畜・鉱産物・農産物などが掲載され、巻末資料に用語解説、都道府県と世界の国々の統計資料、索引が掲載されている。</p>	
	表記・表現	<p>○見開きページごとに学習課題が示されている。本文の重要語句は太字で示され、関連する事項は→p00と書かれ、参照できるようになっている。また、資料は見開きごとのまとまりで通し番号が付けられ、本文にも番号が付されている。</p>	
総 括	<p>○学習課題について資料や作業学習などにより、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるようになっている。「ふりかえる」で発展的な課題を提示することで、地域的特色等を考え、基礎的な事項を確認し、説明や話し合いなどの表現活動を設定し、思考力・判断力・表現力を高められるようになっている。</p>		

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（3 / 4 ページ）

種目(教科等)【社会科（地理的分野）】

項 目	教科書名(社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土) 会社名(帝 国)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○地図資料や写真により課題に迫り、まとめて作業学習を進めながら、地域的特色を考察し、理解させるようになっている。</p> <p>○本文、資料、作業の組み合わせにより基礎を培い、また、深化・発展的な問いを提示することで、地理的な見方や考え方を育成するようになっている。</p> <p>○本時の学習課題や振り返り、また、課題解決に結び付くコラムを見開きページに掲載することで、地域的特色や課題をとらえるようになっている。</p>
特色	<p>〈基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫〉</p> <p>○各見開きページが、「導入資料」、「学習課題」、「本文、資料」、「確認しよう」「説明しよう」の流れで構成され、学習内容の定着を図っている。</p> <p>○グラフの読み取り方、地形図の読み取り方など、基礎的な知識・技能を習得するために、学び方を学ぶ「技術をみがく」が設けられている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○各見開きページの最後に「確認しよう」「説明しよう」が設けられており、説明・要約などを行い、言語活動で学習内容をまとめるようになっている。</p> <p>○諸地域の学習においてはそれぞれの州・地域ごとに「学習をふりかえろう」が設けられており、それぞれの学習内容をまとめたり、説明したりすることで、思考力の育成を図っている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○コラムが「共生」「環境」「防災」の3つのテーマに分けられ、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むようになっている。</p> <p>○「トライアル地理」「発展」などを設けており、生徒の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組ませるように工夫している。</p> <p>〈地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫〉</p> <p>○「技術をみがく」「資料活用」「やってみよう」などを通して、基礎的な技能を活用して、地理的な見方ができるようになっている。</p> <p>○「3つのテーマ分類されたコラム」「地域を探ろう」など、さらに深く単元に迫るテーマを示すことにより、地理的な考え方を身につけるようにしている。</p> <p>〈我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫〉</p> <p>○地域の生活に対する地理的認識を発見するために、冒頭の写真・グラフ等に対して挿絵の人物が問いかけるような工夫をしている。</p> <p>○各地域で生活する人の話とそれにかかわる写真などから、実際にそこに住み、生活する人々の実態や思い、地域的特色を捉え、地理的認識を高める工夫がなされている。</p>
資 料	<p>○世界と日本の諸地域の学習について、地形の概観が分かる地図、その地方の地域的特色を表す主題図とグラフ、写真、雨温図が掲載されている。</p> <p>○巻頭・巻末には世界の国旗や特色ある風景、世界の主な家畜・農産物などが掲載されている。巻末資料に索引が掲載されている。用語解説は本文近くの側注欄に設置されている。</p>
表記・表現	<p>○見開きページごとに学習課題が示されている。本文の重要語句は太字で示され、関連する事項は→p00と書かれ、参照できるようになっている。また、資料は見開きごとのまとまりで通し番号が付けられ、本文にも番号が付されている。</p>
総 括	<p>○学習課題について資料や写真を用いて基礎的・基本的な知識・技能が習得できるようになっている。「学習をふりかえろう」では、自分の言葉で説明することで思考力の育成を図っている。未来の社会をつくるために共生・環境・防災のコラムを掲載し、生活に結びついた地理的考え方ができるようになっている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（4 / 4ページ）

種目(教科等)【社会科（地理的分野）】

項目	教科書名(中学社会 地理的分野)	会社名(日 文)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○それぞれの州・地方でメインテーマを決め、それを各時間の課題と関連づけて学習することにより、地域的特色を考察し、理解させるようになっている。</p> <p>○授業時間ごとに課題が提示され、図版を読み取ったり、考えさせたりすることにより、地理的な見方や考え方を育成するようになっている。</p> <p>○「地域からのメッセージ」「地理プラスα」など具体的事例や補充事例、地域的特色や課題をとらえるようになっている。</p>	
特色	特 内 容	<p>〈基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫〉</p> <p>○各見開きページが、「導入資料」「学習課題」「本文、資料」「学習の確認と活用」の流れで構成され、学習内容の定着を図っている。</p> <p>○グラフの読み取り方、地形図の読み取り方など、基礎的な知識・技能を習得するために、学び方を学ぶ「スキルUP」が設けられている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○各見開きページの最後に「学習の確認と活用」が設けられており、説明・要約などを行い、言語活動で学習内容をまとめるようになっている。</p> <p>○諸地域の学習ではそれぞれの州・地方に「学習のまとめ」が設定されていて、生徒が自分の言葉で表現する活動ができるようになっている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○「地理+α」「自由研究」「地域からのメッセージ」で最新の地理的トピックを具体的に紹介し、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むようになっている。</p> <p>○「言語活動コーナー」「〇〇〇も見てみよう」などを設けており、生徒の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組みせるように工夫している。</p> <p>〈地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫〉</p> <p>○「スキルUP」「トライ」などを通して、基礎的な技能を活用して、地理的な見方ができるようになっている。</p> <p>○「地理+α」「自由研究」、章末の「学習の活用」など、さらに深く単元に迫るテーマを示すことにより、地理的な考え方を身につけるようにしている。</p> <p>〈我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫〉</p> <p>○地域の生活に対する地理的認識を発見するために、冒頭の写真・グラフ等に対して挿絵の人物が問いかけるような工夫をしている。</p> <p>○各地域で生活する人の話とそれにかかわる写真などから、実際にそこに住み、生活する人々の実態や思い、地域的特色を捉え、地理的認識を高める工夫がなされている。</p>
	資 料	<p>○世界と日本の諸地域の学習について、地形の概観が分かる地図、その地方の地域的特色を表す主題図とグラフ、写真、雨温図が掲載されている。</p> <p>○巻頭・巻末には世界の子もたち、日本の主なユネスコ無形文化遺産・世界遺産などが掲載され、巻末資料に用語解説、都道府県と世界の国々の統計資料、索引が掲載されている。</p>
	表 記 ・ 表 現	<p>○見開きページごとに学習課題が示されている。本文の重要語句は太字で示され、関連する事項は→p00と書かれ、参照できるようになっている。また、資料は見開きごとのまとまりで通し番号が付けられ、本文にも番号が付されている。</p>
総 括	<p>○学習課題について「学習の確認と活用」により基礎的・基本的な知識・技能の習得ができるようになっている。「学習のまとめ」では、自分で説明しながら思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。「地理プラスα」「自由研究」で事例を通して、地域的特色や課題をとらえられるようになっている。</p>	